

**第6次日高市総合計画後期基本計画(案)に対する
市民コメント募集結果**

No	当ページ番号・項目番号など	ご意見	市の考え方
1	A 全体を通して	本計画は行政が策定するもので公用文に該当します。公用文の作成に当たっては基準やガイドラインがあります。 ① 正確に書く、分かりやすく書く、気持ちに配慮して書く。本市の最上位計画で市民にとって分かりやすい計画となるよう仕上げてください。 ② 常用漢字表に原則拘束されます。平仮名が妥当かと思われる言葉の表記については、よく検討してください。 ③ 送り仮名の記載も難しい言葉があるので、十分注意してください。 ④ ほかの文献、計画書などから引用した部分は、引用元が分かるように配慮してください。 ⑤ 「適正」「適切」など似たような言葉でもニュアンスが微妙に異なるものがあります。再度妥当性を十分検討し使い分けしてください。 ⑥ 「等」「など」は、本当に必要かどうかよく見てください。 ⑦ 策定事務局、各部署において、文章、言葉など再度適切なものとなっているか、見直しをしていただきたいと思います。	ご意見のとおり、可能な限り市民にとって分かりやすい計画となるよう見直してまいります。
2	B 前期基本計画の検証及び評価	第5次日高市総合計画後期基本計画を読みますと、後期基本計画策定に向けてP8からP19で、次のように前期基本計画を詳細に評価されています。 ・市民意向調査からの評価 ・行政評価制度における施策評価、成果指標による施策の達成状況 ・新たなまちづくりに向けての市民ニーズ ・残された地域課題 今回の後期基本計画ではP1で次のように書かれています。 「前期基本計画の検証及び評価を行い、基本構想の実現に向け令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。」 しかしながら、P16からP17に満足度と重要度の相関図が掲載されているだけです。市民意識調査からの市政への評価・課題、成果指標からの達成度など、前期基本計画での検証及び評価の詳細を10年前の計画策定と同様に記載していただきたいと思います。	前期基本計画の検証及び評価については、資料編に掲載いたします。
3	C 成果指標	① 前期基本計画ではP163以降に指標一覧表が記載されています。指標の算出方法などが分かりやすく記載されています。後期基本計画でも同様な記載をしてほしいと思います。	指標一覧表を作成し、資料編に掲載いたします。
4	D 施策別 10 都市づくり	① 現状と課題2つ目「〇人口減少社会に対応するため、都市機能と居住誘導の緩やかな集約化を目指しています。駅を中心とした利便性確保を促進するため、都市計画の変更と活性化策を講じる必要があります。」とあります。 後段で「高麗川駅について東口開設を生かし更に利便性確保を促進するため、都市計画の変更と活性化策を講じる必要があります。」と高麗川駅を積極的に位置付けしていけばと思います。	この「現状と課題」では、高麗川駅を積極的に位置付けるのではなく、市内のほかの駅につきましても都市機能と居住誘導の緩やかな集約化を目指し、利便性の確保が求められていることを示しているため、原案のままとさせていただきます。
5	12 下水道	① 現状と課題 浄化センターで発生する汚泥は委託会社で処分しているそうです。万が一のことを考え危機管理上、複数の会社を処分先として確保していた方がよいと思います。汚泥処分について現状と課題について記載した方がよろしいかと思います。 ② 成果指標(3)「老朽化設備の改築更新進捗率」 「処理場の老朽化設備の改築更新進捗率」として定義を明確化した方がよろしいかと思います。	①ご意見のとおり、汚泥処分先については検討を続けてまいります。下水道施設の維持管理には、施設、設備、その運用方法や体制など、非常に多岐にわたる取り組みが必要であり、汚泥処分はそのごく一部であることから、原案のままとさせていただきます。 ②指標名に「処理場の」を追記しました。
6	14 学校教育	昨今全国で教職員による性暴力事件が頻発しています。本市においては、言語道断このような教職員はおられないとは思いますが、現状どのように捉えられているのでしょうか。 P63施策の展開の中で、「GIGAスクール構想※の実現に向けて、児童生徒がICTを活用して授業に取り組める環境を整備するとともに、教職員の資質向上のため、教職員研修の充実を図ります。」に包含されているということでしょうか。	未来を担う子どもたちの成長を支える重大な使命を担っている教職員が、性暴力等を含めた不祥事を起こすことは決して許されることではないと捉えております。教職員の資質向上のため、不祥事根絶のための研修を含めた様々な研修を行っており、教職員研修に包含して取り組んでまいります。

7	16 生活環境 18 循環型社会	① 前期基本計画では合併浄化槽の設置割合が、成果指標として生活環境と循環型社会に重複して設定してありました。今回は受検率として設定してあります。設置割合は循環型社会に設定してあります。ただし、現状と課題には言及がありません。設置割合は生活環境で設定したらどうでしょうか。また、設置割合は転換率を含めたものか明確にしたらどうでしょうか。転換については補助金の活用の周知についても記載してほしいと思います。 ② 令和7年度ごみ収集日程表には、乾電池とボタン電池は有害ごみとして位置付けられています。最近各地でリチウムイオン電池による大きな事故が処理場などで頻発しています。人命や処理場の損傷に関わります。本市は取扱いが決定されていないのでしょうか。決定されていないのであれば課題として明記し、決定しているのであれば至急周知してください。 ③ 循環型社会構築のため、市民や事業者に対しては計画でいろいろ述べられています。約380人(正職員)が働いている市役所においても「各種取り組みですが、更にペーパーレス化、燃料費・光熱水費の削減に努めています。」という文言を加筆したと思います。	①前期計画で施策16生活環境における成果指標として、合併処理浄化槽の設置割合を掲げ、おおむね目標水準を達成しています。一方で、現在も合併処理浄化槽の割合は約75%であることから、施策18循環型社会におけるし尿の適正な処理に対する成果指標として引き続き転換を推進してまいります。後期計画については、浄化槽の適正な維持管理を促す必要があるため、法定検査の受検率を成果指標といたしました。 ②リチウム蓄電池等につきましては、市民の皆様からのご要望や環境省からの通知を受け、令和7年10月1日より収集を開始する予定で進めております。 また、周知につきましても、既に市ホームページには記事を掲載しており、広報ひだか10月号にも記事を掲載予定となっております。 ③施策18循環型社会の構築に向けて、資源の有効活用や再生利用を推進しています。脱炭素化社会に向けた取組は、施策17で示しています。また、市役所の取組は第2次日高市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の中でペーパーレス化や省エネルギー化を推進しています。
8	24 市民参加・情報共有	① 施策の展開(1)「② 市民の模範となる功績があった個人や団体に対し、表彰状や感謝状を贈呈します。」とあります。 削除したと思います。市民参加によるまちづくりなどに積極的に参加された方々に敬意を表することは結構だとは思いますが、施策の重点事項に位置付ける内容のものとは思いません。	ご意見を踏まえ、削除いたしました。
9	E 財政計画	財政状況については、P14から15までに歳入の歳出の決算額、経常収支比率、P94から95までに財政運営が記載されています。 普通会計決算額が ここ3年約220億円(市ホームページ引用)で推移しています。 本計画には、今後の歳入・歳出の具体的な金額の見通しについては言及がありません。3か年の実施計画でローリングしながら、歳入、事業の見通しなどを慎重に勘案しながら、予算編成していくことになるのでしょうか。市税、国庫支出金、地方交付税などの歳入の増加は見込めないと思うので、費用対効果を評価しながら、施策を推進していただきたいと思います。	ご意見のとおり、費用対効果を評価しながら、施策の推進をしてまいります。
10	F まちづくりの推進	上記にも記したように財政状況は厳しさを増すばかりだと思います。将来都市像実現のためには、市民・企業の理解と協力が必要になります。適切な受益者負担も求めなければなりません。 施策を推進するため、市民・企業・行政(職員一丸)が一体となり、まちづくりが進展することを期待します。	ご意見のとおり、将来都市像実現に向け、まちづくりを進めてまいります。